

## 冬季スポーツにおける三つの提案

高橋寛（長野県スケート連盟）、堀米光男（小賀坂スキー製作所、元五輪カスケート日本代表）

現在の少年クラブ組織(1996年7月発足)の上位組織として、来年3月に総合型地域スポーツクラブ設立を目指し、2年前(2006年)からその研究に取り組み試行を重ねて参りました。

このほど、文科省(日本体育協会に委託)から、その設立準備期間(20年度)に対し、特別支援が認可されました。現在は3歳から小学生までだが、家族で体験することを重視し、より幅広い年代から障害の有無や国籍を問わず参加者を募り、様々なスポーツや世界文化を体験できる楽しいそして健康づくりの場として、地域への密着を図る予定です。

ついでに、その中から3点の研究結果について発表し、出来れば、当研究会を通じて関係上部機関への提案を要望したい。3点とは、①バイアスロン競技における銃規制と少年、②スノーシュー競技をより面白くするバイアスロンの技術の導入、③冬季スポーツにニュースポーツ新設です。いずれも黒姫スノーパークで実施。2007年(激寒)、2008年(暖冬)。

### 1 バイアスロン競技における銃規制と少年

銃規制で少年の競技力向上に問題がある。銃を用いない、銃をイメージしないバイアスロンであれば、地域スポーツとして可能である。2007年には、銃の代わりに雪玉を的に投げて、その成功率で競ったが、雪質がよいため玉にならず失敗に終わった。

2008年には、直径30センチのホールを造り、マレットゴルフのスティックで10個の球を所定の位置から5m先の五つのホールへ打ち込んで、その成功率を競った。雪質・寒暖等によりホールまでの長さを調整した。手軽に、楽しく、そして幼児からお年寄りまで誰もが簡単に出来る地域スポーツとしての普及を狙う。新競技種目かニュースポーツとして普及したい。関係上部機関 スキー(バイアスロン)。昨年北翔大学の助言を受ける。

### 2 スノーシュー競技をより面白くするバイアスロンの技術の導入

スノーシュー競技に①で述べた手法を導入する。それに子供を乗せて走ると楽しさ等が沸く。新競技種目かニュースポーツ。関係上部機関 スペシャルオリンピックス

### 3 冬季スポーツにニュースポーツ新設

冬季には、ニュースポーツが見当たらない。新設されれば、幼児からお年寄りまで誰もが簡単に出来る地域スポーツとしての普及を狙うことが出来る



2007年 スノーシュー



2008年 バイアスロン 5ホール



2008年 スノーシュー